



PARIS PARIS ガイド



正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。
また、脱臭フィルターの両側のシールは必ずはがしてからご使用ください。

パリパリキューブライトの上手な使い方

パリパリキューブライトは魔法の箱ではありません。
上手にご使用くださるユーザー様の存在が不可欠です。

～運転モード選択の目安～

パリパリキューブライトは2種類の運転モードが設定されています。生ごみの量や種類に合わせて選択してください。

モード：乾燥処理時間 目安容量 重量	標準モード：6時間 バスケット7割以下 約500gまで	多めモード：9時間 バスケット7割以上 最大約700g
--------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------

※生ごみの内容、状態によって乾燥効率は変わります。
乾燥が物足りないと感じたら、このガイドに書かれてある内容を参考にしてみてください。

★ホームページにも情報満載★

製品ホームページ (<http://www.parisparis.jp>)



ここには記載されていない使い方の工夫、その他製品の案内などは、是非ホームページをご覧ください。



PARIS! PARIS! アイディア

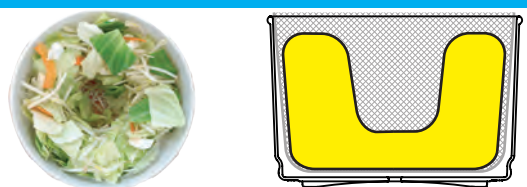
乾燥効率を上げれば、さらにパリパリに乾燥処理させることができます。
また、より短い時間のモード設定で乾燥処理することも可能です。

～形が大きい物～



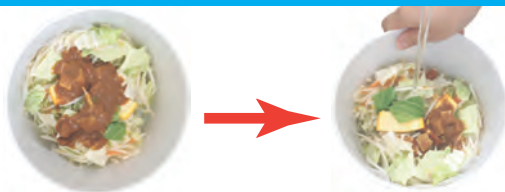
キャベツやタマネギの皮のように処理容器内の温風をさえぎってしまうものは、乾燥処理する物とは別にして捨てるか、細かく切ると効果的です。

～中心をへこませる～



ごみの中心をへこませることにより、温風が効率良く当たり乾燥効率が上がります。また、果物の皮のように糖分の多いものはバスケット上の方に置くと効果的です。

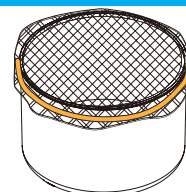
～カレーなどペースト状のもの～



バスケットに入れた後、上から水で流し、よく水を切ってから処理容器に入れます。

※糖分を多く含むもの、油分を多く含むもの等は乾燥しきれない場合があります。

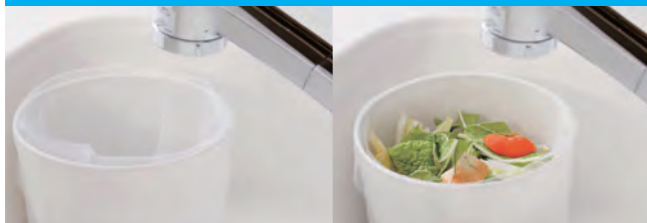
～水切りネットは輪ゴムが便利～



水切りネットを使用する場合、輪ゴム等で水切りネットを止めると、水切りネットがずれることなく使用できます。

パリパリキューブライトを使ってみましょう

1. バスケットをシンクに置く



バスケットに水切りネットをかぶせて、三角コーナーの代わりにご使用ください。

※水切りネットをかぶせなくても使用可能です。

2. 処理容器へ移す



バスケットから落ちる水分を処理容器が受け止めるので、床をよごさずに運べます。

3. 本体上部をのせる



処理容器の下に専用マットを置き、バスケットを処理容器の中央付近にセットします。本体上部を傾かないようにのせてください。

4. 運転を開始する



電源ボタンを押し電源を入れてください。次にスタートボタンを押して、運転モードを選択し、運転を開始してください。

パリパリキューブライトの使い方の例

～お使いになられている参考例～



「どのようにしたらさらに効率よく、エコに乾燥できるか知りたい！」
そんな時は是非こちらを参考にしてみてください。

Aさん宅 夕食がカレーだったので、野菜の皮などでバスケット7割ほど。食べ残しはバスケットに入れた後、上から水で流して乾燥処理しました。多めモードで乾燥処理したら野菜の皮は驚くほど小さくなりました。

Bさん宅 野菜ごみ中心でバスケットに7割ほどの容量でした。野菜は適当な大きさに切り、中央にへこみを作って乾燥処理しました。量は多かったけど野菜だけだったので標準モードでパリパリでした。エコライフを堪能！

Cさん宅 今回はスイカの量が多いので“PARIS!PARIS!アイディア”に書かれているように包丁やハサミを使って適当な大きさに切り、切れ目も入れて標準モードで乾燥処理しました。乾燥処理後のスイカの形にびっくり！